

令和8年2月10日

稲作情報 第1号



中央部営農センター	TEL : 22-2127	北部営農センター	TEL : 65-2016
東部営農センター	TEL : 55-4712	西部営農センター	TEL : 32-3160
営農経済部米穀課	TEL : 27-1601	由利地域振興局 農業振興普及課	TEL : 22-8354

令和8年産に向けたJA秋田しんせいの取り組み方針をお伝えします。

●つぶぞろいの面積拡大について

①つぶぞろい推奨の経緯

JA秋田しんせいはこれまで多収獲品種として「萌えみのり」を推奨し、面積の拡大を進めて参りました。しかし、近年の高温化の中で品質の確保が難しくなり、等級への影響が出てきております。そこで高温耐性品種ではないものの、「萌えみのり」と比較して等級比率が高く品質の安定する「つぶぞろい」への品種誘導と面積拡大を図ってまいります。

また、これまで「つぶぞろい」はecoらいすへの取り組みが必須であり、かつ主食用米に限定した作付でしたが、令和7年産からは水田活用米穀での取り組みも可能となり、収量面でも適しているという理由もあります。

◆令和7年産米1等米比率（主食用米ほか水田活用米穀も含む）

つぶぞろい	萌えみのり	めんこいな	ゆめおぼこ
95.4%	87.7%	91.9%	83.5%

②品種特性について

- ・中生の晩で良食味、粒が大きく多収性がある。稈が強い（倒伏に強い）。
- ・いもち病に強い（葉いもち→やや強 穂いもち→強）。
- ・ひとめぼれ等と比べて発芽しやすい。

「つぶぞろい」に関しては、面積拡大に向けて十分な種子量を確保しながら「萌えみのり」「めんこいな」「ゆめおぼこ」からの品種切替を推奨して参ります。

●サキホコレについて

サキホコレは令和7年産より特別栽培米がスタンダードの栽培方法として取り組んでおります。

特別栽培米の基準は農薬5割減（使用成分10成分以内）・化学肥料N成分4kg以内/10aとなります。そのほか、「秋田しんせいサキホコレ栽培研究会」独自の取り組みとして有機50%以上の投入/10aに取り組んでおります。令和8年産米についてもこの基準にて作付をお願い致します。

◆肥料の統一

パターン① 全層対応基肥肥料 CDU有機入り263（有機51%） 令和6年より

パターン② 側条対応基肥肥料 ペースト肥料+有機100%肥料使用
（例）新エコペースト+有機自慢
（例）新エコペースト+おらほの油かす 等

化学肥料N成分が4kg/10aを超えないよう十分に注意願います。不明な際にご相談下さい。

◆使用農薬の統一

使用する農薬を統一しております。作付される方はお間違いの無いようお願い致します。

